

## 内分泌代謝内科

### 1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:30 (月曜日祝日の場合、火曜日 8:30 に集合)
- (2) 集合場所 第4研究棟1階 101

### 2 実習概要 (実習内容)

#### (1) 病棟実習

入院患者を担当し、問診・診察・実行可能な検査を自ら実施する。得られた所見や検査結果を評価し、治療目標を達成するために必要な監査や治療の計画を立案し、カルテ上に毎日記載の上、上級生担当医の指導を受け、治療行為に必要な知識、技能を取得する。

血糖測定、インスリン注射、甲状腺エコーについてレクチャーを受け、学生医同士で練習し、基本的技術を取得する。

病棟回診前カンファレンスでは、主治医に準じて経過、検査計画、治療計画の報告と、質疑応答を行い、医療従事者に必要な情報伝達能力を取得する。

多職種チームカンファレンスに参加し、多職種連携に医師として求められるスキルを取得する。

症例検討会のクリニカルクエスト作成を担当し、学会活動や生涯教育に必要な発表能力や情報収集能力を獲得する。

実習終了時には、考察を加えた退院時ようやくに準じたレポートを作成し、医療文書作成能力を取得する。

#### (2) シミュレーターを用いた実習

シミュレーターを用いて、医学教育モデルコアカリキュラムに示されている診断の基本項目について臨床推論技能を取得する。

#### (3) オンライン実習

バーチャル症例により典型症例の問診、診察、検査計画を立案し、鑑別診断や診断のプロセスを学ぶ。

血糖調整についてレクチャーを受け、インスリン使用時の基本的考えを理解する。

他大学共同プログラムでは、症例報告英語論文を読み、グループ内で協力しスライド作成とプレゼンテーション能力を獲得する。

動画閲覧により最新の糖尿病の考え方について学び、フィードバックを受け理解を深める。

### 3 GIO (一般目標)

内分泌代謝疾患の医療従事に必要な医療技能を習得する。

### 4 SBO (到達目標)

- (1) 医療面接、診察、検査を行うことができる。
- (2) 診察所見、検査結果を解釈し、問題点を列挙することができる。
- (3) 診断・治療に必要な検査計画を立案することができる。
- (4) 医療の遂行に必要な情報伝達ができる。
- (5) 文献等の医療情報の収集ができる。

## 5 スケジュール

曜日	午前	午後
月	〈オリエンテーション〉 〈外来病歴の取り方〉 [教授フィードバック]	糖尿病カンファレンス 〈インスリン/SMBG 使用方法〉
火	入退院カンファ・回診	※症例検討会 〈抄読会〉 [※クリニカルクエスチョン]
水	※バーチャル症例	(臨床推論)
木	(※バーチャル血糖調整) [※バーチャル症例]	(甲状腺エコー)
金	〈教授フィードバック〉	〈臨床推論〉 [まとめ] [※他大学共同 NEJM 抄読会]

( ) は1または2週目, 〈 〉 は1週目, [ ] は2週目 ※はオンライン学習  
担当教員：金崎, 山本, 守田, 野津, 石原, 他

担当教員は実習内容の詳細については, グループ毎に初日に説明する。

( ) は1週目, [ ] は2週目

## 6 評価法

出席, 実習態度, 実施手技項目, 症例呈示, クリニカルクエスチョン, レポートなどを総合して判断する。

## 7 その他注意事項

(1) 医療従事者 (Student doctor) である自覚を持つこと